

「カナダ学」のこの1年

鹿追高校で実施される「カナダ短期留学」を念頭に置いてカリキュラムが生まれ、小・中・高等学校では、これまでの研究で作成したカナダ学の教科書（小学校「カナダ入門」、中学校「カナダ基礎」、高等学校「カナダ研究」）を活用し実践を積み重ねてきました。

特に、学習の中でカナダの習慣や文化に触れながら、興味・関心を高め、英語力とコミュニケーション能力を育てています。

高校3年生は、カナダ訪問団と英語で環境問題を話し合う学習を行っています。

【小学校】

子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成と中学校英語との滑らかな接続を図るために、少人数に分かれ、児童の興味関心に応じたコース選択による学習をしています。



少人数指導の授業



少人数指導の授業

【中学校】

小学校や高校の英語教諭の乗り入れによる少人数に分けた指導やスカイプ、電子黒板などの教育機器を有効に活用した指導で、生徒の興味関心を引き出した学習を行っています。



スカイプを活用した授業

【高校】

鹿追高校体育館で、鹿追高校国際コースの3年生と町内の低学年の児童が、英語による交流学習を行いました。初めての試みでしたが、高校生のお兄さん、お姉さんと仲良く交流することができました。



英語の絵本の読み聞かせ

「新地球学」のこの1年

平成24年度から26年度までの3年間、第4期目になる文部科学省の研究開発学校の指定を受け「新地球学」の実践を積み重ねてきました。

「新地球学」は、昨年度まで取り組んできました「地球学」に持続可能な開発のための教育（ESD）や防災教育を加え、カナダ学の成果も生かして、小中高12年間を見通した環境教育プログラムとして開発したものです。

具体的な内容は、①地域の自然と環境・防災、②地域の文化、③国際理解、④エネルギーについて学習します。今年度は小中高それぞれの学校で次のような学習を行いました。

【小学校】

身近な自然とふれあう体験学習や調べ学習を通じ、子どもたちは鹿追町や地域の良さを実感しています。また、出前授業などを通じて、災害の危険性や防災についても学びました。この3月には小学校用教科書が完成します。



ヤンベツ川での自然体験学習



凍結深度の出前授業

【中学校】

地域の文化や歴史について学ぶとともに、環境保全に必要な知識・技能、考え方を身に付けるための学習をしています。また、然別湖周辺の自然体験学習を行いました。



然別湖でのイーグルづくり体験

【高校】

カナダ短期留学における調査・取材や環境・防災をテーマとしたディスカッションなどを通じ、問題解決に向け多面的、多角的に考察する学習を行いました。



カナダの高校生とのディスカッション